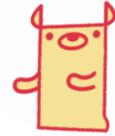


野々市はかせ



<目的>

市役所から、野々市市民がもっと野々市市について知ることができるような案をだしてほしいという要望を受けた→野々市市に子供が多いことに注目した。

<プロジェクト>

我々は野々市市についての人口や面積などのアンケートを小学生やその保護者に実施したが、野々市市についてよく知っている人が少なかった→

- ・野々市市を知るために統計データを含めたものを作成
- ・子供にも分かるようにと遊びを通して興味を持たせる

この二つから正式に野々市市を遊びを通してアピールすることに決定した。



<方法>

我々は統計データを遊びにどう盛り込むかを考え、独自に「野々市はかせ」と

いうボードゲームを考えた。材料は段ボールを中心とし、サイズは30×21とした。野々市市を御園、館野、野々市、富陽、菅原の5つの小学校区に分け、パズルのような形式にした。野々市に関する事について問題を出します。

その問題の答えを地域に対応させ色で合わせる。1・赤2・オレンジ3・黄色4・青5・紫。先ほどの小学校区5つをそれぞれ5ピースずつ作る対応した色を被らないようにはめていくそれぞれ完成した図をグループの答えとして出す。その後答え合わせ。

<結果>

野々市はかせを御園小学校の4年生に実施してもらった。野々市はかせを説明した際、完全に理解している子としていない子が半分ずつぐらい問題が出題された後少し悩んでいた様子→複数で議論していた→我々の狙い通りで良かった(お互いにコミュニケーションを取り、自分の考えを言い合うという狙い)



実施したアンケート

完成形

問題例



御園小4年生女の子Rちゃんの感想

わたしは、「野々市はかせ」というゲームをしました。このゲームは、クイズも楽しみながら、野々市のいろいろなことを知れたりパズルを楽しめたりできるので、大学生の人たちはよくこのゲームを考えたなと思いました。大学生の人たちは、野々市のことをみんなに知ってもらいたいという気持ちで考えたんじゃないかと思いました。とても楽しくて、いい体験ができたので良かったです。

<結論>

我々はこの野々市はかせを作成し、実際に体験してもらうことによって、市役所の要望通り野々市について小学生に興味を持ってもらうことができた。さらに自分たちの目標だった新聞にも載ることができた。



金沢工業大学
20〇△年度 プロジェクトデザインⅡ

プロジェクトテーマ : 遊びを通して野々市をアピールする
 クラス番号 : E1404
 チーム番号 : 7
 チーム名 : NEK
 チームメンバー名 : 宮村賢吾、峯村宗一郎、渡辺健、森下超亮、水戸勇希、本田和也
 担当教員名 : 竹俣一也

※7月19日北國新聞朝刊に掲載